

1. 利用者ニーズ把握のための実施事項（複数ある場合は、全て記入してください。）

志摩市役所産業振興部が事務局を務める「志摩市灯台活用推進協議会」において、地元関係者とともに、当会安乗埼支所及び大王埼支所の両支所長が委員として参画し、活動しながら利用者ニーズの把握に努めている。

また、令和3年2月4日には、公益社団法人燈光会における全国16の「のぼれる灯台」における灯台参観事業を行う支所長等による会議が新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、リモート会議として開催され、利用者ニーズ等に関する意見交換を行った。

2. 実施事項の結果概要（件数等具体的に記入してください。）

志摩市灯台活用推進協議会のメンバーとして、次のとおり活動に参加等して、利用者ニーズの把握とともに、新たなアイデアの意見発表をするなど、灯台活用の推進に向けた活動を実施した。

- (1) 令和2年 7月10日 第一回協議会への出席
- (2) 令和2年 8月 9日 協議会による大王埼灯台周町あるき調査への参加
- (3) 令和2年11月10日 第二回協議会への出席
- (4) 令和2年11月29日 協議会による大王埼灯台町あるき調査への参加
- (5) 令和2年12月 4日 第三回協議会への出席
- (6) 令和3年 1月14日 第四回協議会への出席
- (7) 令和3年 3月 9日 第四五協議会への出席

3. 利用者ニーズに対する対応可能性 ※アンケート結果の内容を全て具体的に記入してください。（対応可能なものか、可能であるとすればその時期等）

※凡例 A:既に対応済み・すぐに対応可能 B:翌年度に対応する C:今後、検討する D:対応不可 E:その他・分類不能

ニーズ・意見等	対応可能性	施設回答	所管課所見
安乗埼・大王埼両灯台連携	A	両灯台の連携により、市民や観光客に対して、ホームページ、インスタグラムを活用し、灯台の魅力を効果的に情報発信する。	地元団体にも協力し、両灯台の連携により、市民や観光客に対して、SNS等も活用し、灯台の魅力について情報発信を行っている。
灯台PR事業	A	昨年10月に製作した灯台の魅力を伝え、誘客を念頭に置いた新たなリーフレットを観光案内所等に備え置くなど、積極的なPRを行う。	新たなリーフレットを観光案内所等に備え置くなど、積極的にPRを行っている。

4. 今後の課題・改善点等

- (1) 安乗埼灯台資料館の展示内容の充実・強化
資料館設置がされてから長年が経過し、展示資料が老朽化してきていることから、近年のICTを活用した資料館のリニューアルが必要である。
- (2) 安乗埼台資料館へのアクセスに係る基盤整備の充実・強化
自家用車による訪問のためのアクセス道路、駐車場や、自家用車を持たない方に対する公共交通機関(バス等)等の基盤整備が必要である。